

これからも『感染症予防の徹底』と『思いやりの心』を大切に！

新型コロナウイルス感染症は、これまでは予想だになかった現実を、私たちの目の前にもたらしました。「新しい生活様式」のなかでの学校や家庭・地域での生活、また、誹謗や中傷による人権侵害など、心の面においても危惧される状況となっています。

このようななか、感染症への理解や対応とともに、「一人ひとりを大切にすること」への取組にも目を向けていかなければならないと考えています。学校では、12月上旬に「校内人権週間」を設け、

□児童会本部の取組 「笑顔いっぱいになあれ」

*全校児童が「自分の笑顔のイラスト」を描き、ひとつの大きな掲示物を制作

□友情委員会の取組 「とぼそう！みんなのいいところ シャボン玉」

*「友だちのいいところをたくさんのシャボン玉にしてとぼそう」のテーマで取り組み、自分や友達のいいところ、クラスのいいところがいっぱい詰まったシャボン玉を掲示し読み合う。

「ストップいじめのポスター作成と呼びかけの掲示」

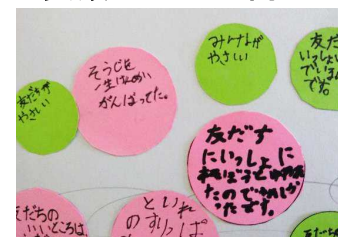
などに取り組みました。「一人ひとりを大切にすること」「自分の発する言葉を大切にすること」について自分自身を見つめ考えました。



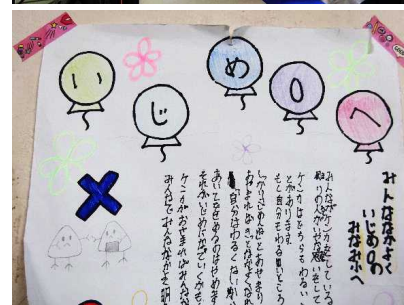
笑顔いっぱい南小



児童会本部の子どもたちが
校内放送でよびかけました
全校に向けて



みんなのいいところ
シャボン玉



人は言葉で繋がり、言葉によって支えられています。ご存じの方（大切にされている方）も多いことかと思いますが、子どもたちに紹介した詩「ひとつの言葉」と、私たち大人もまた考えさせられる「言葉の力についての教え」を紹介します。

ひとつの言葉

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭がさがり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を持っている
きれいなことばはきれいな心
やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

このような教えを聞かれた方もおられるのでは…

批判ばかり受けて育った子は 批判ばかりします
敵意にみちた中で育った子は だれとでも戦います
ひやかしを受けて育った子は はにかみ屋になります
ねたみを受けて育った子は いつも悪いことをしているような
気持ちになります
心が寛大な人の中で育った子は がまん強くなります
はげましを受けて育った子は 自信を持ちます
ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります
公明正大な中で育った子は 正義心を持ちます
思いやりのある中で育った子は 信仰心を持ちます
人に認めてもらえる中で育った子は 自分を大事にします
仲間の愛の中で育った子は 世界に愛をみつけます

感染症予防に向けてのお願い

前号でもお願いをいたしました、テレビや新聞などでは、感染症拡大やこれからの生活、とりわけ年末年始の人の動きや過ごし方による影響が懸念されております。

どうか、今後におきましても、「日々の予防に向けた新しい生活様式の習慣化や学校・家庭での生活、健康管理の延長上に、節目となる取組（例えば校外学習や六年生を送る会・卒業証書授与式など）があること」をご理解いただき、引き続き、子どもたちの健康管理や励ましをよろしくお願いいたします。